

SIA 教育部 資格委員会

新ステージ I 実習資料

SIA が目指す新ステージ I

1. SIA の指導：公認スキー学校の監督の下、『安全』を第一に指導し、スノースポーツの楽しさを伝える。
指導対象は初心者から初級者までとする。
2. SIA の滑り：いかなる自然状況でも安全に滑るスキー操作を目指す。

新ステージ I の目的

1. 現場のニーズにあわせたスノースポーツ教師の育成
2. 国際基準にあわせた資格制度の改正

新ステージ I 検定内容

●検定員について

- ◆AP, SB, TM 新ステージIV以上の資格保持者1名以上で担当（活動会員）

●入会資格

- ★AP 国際スキー技術検定 セミシルバーまたは他団体同等資格
 - ★SB スノーボード技術検定 セミシルバーまたは他団体同等資格
 - ★TM テレマークスキー技術検定 ブロンズまたは他団体同等資格
- ※他団体同等資格については認定規程参照

●実技実習・検定【雪上】内容【4時間（検定時間含む）】

- ★AP 合格60点以上（セミシルバー基準の60点相当以上）
 - ◆プルークボーゲン【P23】
セミシルバーの種目にはないが検定員の経験と知識において判定してください
 - ◆基礎パラレルターン【P30】
- ★SB 合格60点以上（セミシルバー基準の60点相当以上）

- ◆初歩のターン【『スノーボードティーチングブック改訂版』P38】
- ◆スライディングターン
- ★TM 合格60点以上（ブロンズ基準の60点相当以上）
 - ◆シュテムテレマークターン【P87】
 - ◆基礎テレマークターン【P88～89】

●指導実習【机上・雪上】内容【4時間】

- ★AP
 - ◆準備過程～プルークボーゲン深回りまでの指導の流れ【P15～23】
- ★SB
 - ◆準備過程～ずれの多いワンターンまでの指導の流れ【P58～69】
- ★TM
 - ◆準備過程～基礎テレマークターンの導入までの指導の流れ【P82～87】
- ★共通
 - ◆レッスンを行うスキー場の実情にあわせた心得と安全管理
参考資料：教程【P126～127】、「安全指導のガイドブック」

●基礎理論【机上】内容【2時間】

- ◆SIA 理念【P6】
- ◆SIA 会員の心得【P7】
- ◆マナーの基本【P101】
- ◆子供の指導方法と注意事項【P102～105】
- ◆スキー修学旅行での指導と問題点【P106～108】
- ◆SIA 教師資格

参考資料：【資格制度改正後の検定内容】

SIA 認定スノースポーツ教師資格検定内容（2018年12月1日更新版）.pdf

【その他】

- ・各種目のステージIV有資格者（活動会員）が指導および検定を行い、校長が証明する。
例：校長がアルペンスキー資格のみの場合
スノーボードやテレマークスキー有資格者の指導および検定を受けたうえで校長が証明する。
- ・合格手続き
所定の入会申込書に記入捺印の上、SIA事務局へ提出する。
年会費を納入する。（銀行振込、現金書留いずれも可）
- ・合格者は、SIA 会員総合補償制度に加入となります。
入会申込書と年会費到着後（※）に保険適用となります。
※毎週水曜日〆切。翌週月曜日から適用。

■ステージⅠ検定会（アルペンスキー・スノーボード・テレマークスキー）

【受検会費】 検定料 無料

- 【受検資格】
- ① 受検を開始する年の4月2日から翌年4月1日迄に、満18歳以上（高校在学者は除く）で、これからスノースポーツ教師（アルペンスキー・スノーボード・テレマークスキー）になろうとする者。
 - ② 公認スキー学校または協会で実施する技術検定（国際スキー技術検定、スノーボード技術検定、各セミシルバー以上、テレマークスキー技術検定ブロンズ以上）、または他団体で実施した同等の技術検定（公益財団法人全日本スキー連盟公認スキーバッジテスト3級以上、日本スノーボード協会バッジテスト3級以上、日本テレマーク協会テレマークスキー技術検定レベル1以上）に合格している者。
 - ③ 公認スキー学校における、実技実習（4時間）、指導実習（4時間）、基礎理論（2時間）の講習修了証明書を提出できる者。
※正会員・認定会員（他種目の有資格者）は、基礎理論（2時間）を免除。
※実習等のスケジュールは、各公認校において計画運営を行ってください。
 - ④ 公認スキー学校長の所属証明書を提出できる者。

【受検手続】 ① 所定の書類に自筆で記入し、捺印の上、上半身の写真（2.4cm × 3cm）を添付し、公認スキー学校長に提出する。

※写真は、正面・無帽・6か月以内に撮影したもの。裏面には、氏名を記入すること。
【合格手続】 ① 公認スキー学校は、所定の入会申込書に記入捺印の上、年会費6,000円とともに提出する。（銀行振込、現金書留いずれも可）

- ② 正会員・認定会員（他種目の有資格者）は年会費不要。
- ③ 合格者の年会費は、その年度（10月1日～翌年9月末日）分とする。
- ④ 会長は、合格した者に認定証並びに会員証を交付する。

【実技検定】 合格基準 各種目60点以上

- <アルペンスキー・ステージⅠ>
① プルークボーゲン ② 基礎パラレルターン
<スノーボード・ステージⅠ>
① 初歩のターン ② スライディングターン
<テレマークスキー・ステージⅠ>
① シュテムテレマークターン ② 基礎テレマークターン

- 【その他】
- ① 合格後の協会登録住所は日本国内とします。指定のない場合は、所属する公認校といたします。
 - ② 今回ご入金いただいた年会費は今年度分となります。次年度からは年1回、毎年9月末日までに納入してください。年会費未納の場合は資格の喪失に至りますので、ご注意ください。
 - ③ 合格者は、SIA会員総合補償制度に加入となります。入会申込書と年会費到着後（※）に保険適用となります。 ※毎週水曜日ㄹ切。翌週月曜日から適用。

受検者 手続チェックリスト

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | ① 入会申込書の「■受検者記入欄」に自筆で記入し、捺印の上、上半身の写真（2.4cm × 3cm）を添付する。 |
| <input type="checkbox"/> | ② 技術検定合格証（上記【受検資格】②に該当するもの）のコピーを入会申込書の裏面に添付する。 |
| <input type="checkbox"/> | ③ ※外国籍の場合 パスポートのコピーを入会申込書の裏面に添付する。 |
| <input type="checkbox"/> | ④ 入会申込書を公認スキー学校長に提出する。 |

公認スキー学校 手続チェックリスト

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | ① 入会申込書の「■検定員記入欄」に検定の結果を記入する。 |
| <input type="checkbox"/> | ② 入会申込書の「■公認スキー学校記入欄」に記入し、捺印する。 |
| <input type="checkbox"/> | ③ 入会申込書を協会に提出する。 ※合格者のみ |
| <input type="checkbox"/> | ④ 合格者について、年会費（6,000円）を納入する。 ※正会員・認定会員（他種目の有資格者）は不要。 |

公益社団法人 日本プロスキー教師協会 ステージⅠ
入会申込書

| | | | | | | |
|-------------|---|---|--|-------------|---|---|
| ■ 受検者記入欄 | ふりがな | | | 男 ・ 女 | 写真及び捺印の無いものは無効 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px auto;"> 写真 3×2.4 </div> | |
| | 氏名 | 印 (外国籍の場合sign可) | | | | |
| | 生年月日 | 西暦 | 年 月 日生 | 現在 | | 才 |
| | 所属公認学校名 | | | | | |
| | 現在のSIA資格 | () なし () 認定会員 (他種目のステージⅠ) () 正会員 (他種目のステージⅡ以上) | | | | |
| | 国籍 | ※外国籍の場合、下記の旅券番号 (Passport NO.) について記入すること | | | | |
| | 旅券番号 Passport NO. | 有効期間満了日 西暦 年 月 日 | | | | |
| | 合格後の 協会登録住所 (自宅等) ※日本国内とする | 〒 - - 電話 (- -) | | | | |
| | 携帯電話 | - - | | | | |
| | E-mail | | | | | |
| 種目 | () アルペンスキー | () スノーボード | () テレマークスキー | | | |
| 取得メダル等 | 国際スキー技術検定 () スーパーゴールド () ゴールド () セミゴールド () シルバー () セミシルバー | スノーボード技術検定 () ゴールド () セミゴールド () シルバー () セミシルバー | テレマークスキー技術検定 () ゴールド () シルバー () ブロンズ | | | |
| | 全日本スキー連盟 () クラウン () テクニカル () 1級 () 2級 () 3級 | 全日本スキー連盟 () 1級 () 2級 () 3級 | 日本テレマークスキー協会 () レベル4 () レベル3 () レベル2 () レベル1 | | | |
| | | 日本スノーボード協会 () TECH.3 () TECH.2 () TECH.1 () 1級 () 2級 () 3級 | | | | |
| | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------|----------------------------|----------------|-----------------|-------------------|--|
| ■ 検定員記入欄 | (合格基準 各種目60点以上) 実技検定 | 実施日 | | | |
| | | 会場 | | | |
| | | 検定員 | | | |
| | | アルペンスキー | スノーボード | テレマークスキー | |
| | | プルークボーゲン 点 | 初歩のターン 点 | プルークテレマークターン 点 | |
| | | 基礎パラレルターン 点 | スライディングターン 点 | 基礎テレマークターン 点 | |
| | | 合・否 | 合・否 | 合・否 | |

| | | | |
|-----------------|--|--|---|
| ■ 公認スキー学校記入欄 | 公認スキー学校所属証明書 実技・指導実習修了証明書 実技検定合格証明書 | | |
| | 上記の者は、当スキー学校に所属し、所定の実技(4時間)・指導実習(4時間)・基礎理論(2時間)を修了し、実技検定に合格していることを証明いたします。 | | |
| | 年 月 日 | | |
| | 実技・指導実習 担当者名： | | 印 |
| | 校長名： | | 印 |

SIAの理念

1. 公益社団法人日本プロスキー教師協会（以下SIAという）は、スキーをはじめとするあらゆるスノースポーツの技術指導を目的とした、我が国唯一の専門家（プロフェッショナル）集団である。
2. SIAは、スノースポーツの指導にあたり、「安全なスノースポーツをSIA」をモットーに掲げ、老若男女を問わず、健常障害者を問わず、すべての人々が生涯を通して、「安全にスノースポーツを楽しむ為」に技術並びに指導法を練磨し、用具の開発と装備の充実、そして環境保全を追求する事を目的とする。
3. SIAは、国内外に於て、スキーをはじめとするあらゆるスノースポーツの指導者たちとの連携を図ると共に、他のスポーツ諸団体との友好親善関係を構築し、我が国の正しく健やかな青少年育成の為に、奮励努力する事を目的とする。

SIAの心得

1. SIAに所属するすべての会員は、大自然の類い稀なる美しさと厳しさを良く認識し、大自然と共に生きる事は人類共通の掛け替えの無い貴重な現実である事を理解し、その重要性を広く後世に伝える為、啓蒙活動を積極的に行う。
2. SIAの会員は、前項の目的を達成する為に選り抜かれた精鋭である事を自覚すると共に、スキーを始めとするあらゆるスノースポーツの技術指導が、すべての人々の人生を、より広く、より深く、より楽しく、より豊にする為の「手段」として最良のものである事に留意する。
3. SIAの会員は、あらゆるスノースポーツの技術並びに指導法に優れていると同時に、我が国の社会を構成する一国民として、歴史、政治、経済、教育、芸術等の、あらゆる分野に通暁した有能なる日本人を目指して研鑽する。
4. SIAの会員は、スキー場を中心とする地域社会の人々と積極的に交流を深め、地域社会との共存共栄の道を真摯に模索し、地域の活性化に貢献努力する。